

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2024
12月
No.127

 兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより



[診療科紹介] 呼吸器外科
呼吸器内科



表紙写真撮影者/総務部 T.A.

- [AGMCニュース] JICA研修団へ性暴力被害者支援の研修を行いました
- [ぶらり~っと病院探訪] メディカルライブラリーのご紹介
- 引き続き、不織布マスクの着用について
- セミナーのご案内



自分や家族が病気に
なった時に受きたい医療
を目指しています

肺、胸壁、縦隔病変に対する外科的治療を行っています。対象となる病変は良性から悪性まで多岐にわたりますが、経験豊富なスタッフが、ほぼ全領域に対応しています。

構成メンバー

6名の常勤医が在籍しています。そのうち呼吸器外科専門医は4名です。



科長・部長
阪井 宏彰

部長
松岡 隆久

- 深田 武久
- 宮本 英明
- 鉄本 啓介
- 森谷 哲士

【後列左から】 鉄本医師／深田医師／宮本医師／森谷医師
【前列左から】 松岡医師／阪井医師



ロボット手術

提供する活動内容

肺の悪性腫瘍

腫瘍の大きさ進行の程度によって選択する手術は異なります。できるだけ低侵襲で呼吸機能の温存を目指した手術を選択しています。ロボット手術、単孔式手術など最先端の手術も積極的に取り入れています。呼吸器内科や放射線科との密接な連携により進行がんに対して術前や術後の化学療法、放射線治療を施行している症例も増えています。

肋骨骨折・気胸・血胸・膿胸

肋骨骨折、気胸、血胸などの緊急症例に対して早期の対応、必要に応じ緊急手術も積極的に行っています。

縦隔腫瘍

胸腺腫を主とする縦隔腫瘍に対しては基本的に胸腔鏡下で試行していますが、胸腔内の大血管や胸壁に浸潤している場合には開胸での手術が主流です。重症筋無力症の方には脳神経内科と連携を取りながら、拡大胸腺摘出術を胸腔鏡で行っています。



単孔式手術



患者さんや
地域医療機関への
メッセージ

入院が今回初めての方も多く術前・術後の心配事や不安が軽減できるよう、患者さんやご家族が納得できる説明、対応を心がけています。不明な点は遠慮なくご質問下さい。

呼吸器内科

患者さまとともに
適切な診療をすすめて
まいります

構成メンバー



科長・副院長
遠藤 和夫

部長
平位 知之

- 松本 啓孝
- 斎藤 恵美子
- 寺田 悟
- 岡崎 航也
- 小坂 七海
- 嶋村 優志
- 国宗 直紘
- 向井 文香
- 池田 拓真
- 本田 郁子

提供する活動内容

あらゆる呼吸器疾患に対応します。

肺癌、胸膜中皮腫

当科で最も力を入れています。肺癌が疑われた際は迅速に気管支鏡検査等で確定診断まで行います。年間300例以上気管支鏡検査を行なっています。呼吸器外科、放射線治療科とも連携し最新のエビデンスに基づいた治療を提供いたします。

喘息 COPD

呼吸機能検査等で確定診断を行い、病状が安定しましたらかかりつけ医と連携のうえ治療を行います。頻回に喘息発作を起こされる方は、生物学的製剤を投与する事で劇的に改善がみられる方もおられます。耳鼻咽喉科と連携し治療を行います。

間質性肺炎

原因は多岐にわたります。適切に診断し、抗繊維化薬の導入や在宅酸素導入等QOLを損なわない治療をめざします。自己免疫性疾患が背景にある場合もあり、その際はリウマチ・膠原病内科とも連携いたします。

感染症

重症肺炎に対しては集中治療部と連携し入院加療を行います。
近年増加傾向にある非結核性抗酸菌症等に対し、適切な治療を提供いたします。



カンファレンス風景



内視鏡検査の様子

患者さんや
地域医療機関へのメッセージ

気管支、肺の病気が疑われ、詳しい検査が必要と思われる場合は、当科へご相談下さい。多職種連携で適切な医療を迅速に提供いたします。





JICA研修団へ性暴力被害者支援の研修を行いました

10月2日、令和6年度JICA主催「ジェンダーに基づく暴力の撤廃」研修団が視察に来られました。NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご(略称:支援センター・ひょうご)は当院と連携して性暴力被害にあった方への支援を行っていることから、当院と共に、アフリカ、アジア、オセアニアの14か国の代表者20名に向けて性暴力被害者支援の研修を行いました。

平家俊男院長の歓迎あいさつの後、「支援センター・ひょうごの理念と歩み」を同法人の福岡ともみ副理事長、「性暴力被害者への医療支援のスタンス」を産婦人科 田口奈緒医師(支援センター・ひょうご理事)と小児科 毎原敏郎医師が各々講義しました。参加者は熱心に耳を傾け、盛会のうちに終えました。



10月31日「NHKおはよう日本」に 田口奈緒医師(支援センター・ひょうご理事)が出演

「学校で性暴力被害が起こったら」をテーマに取材を受けました

取材の詳細はNHKホームページ⇒<https://www.nhk.or.jp/minplus/0026/topic135.html>



～支援センター・ひょうごの取り組み～

- AGMCと連携して、性暴力にあった人が安心して医療を受けるために院内で付き添い支援をしています
- AGMCを受診したことのない人や子どもや男性、本人以外(家族や学校など)からの相談も受けています
- 電話(06-6480-1155)・メール(hyo-5@1-kobe.com)・SNS/対面で、被害後の支援情報を伝えています
- 学校や地域で性教育や研修をしています
- 性暴力被害者支援を基礎から学ぶ「支援員養成講座」の受講生を募集中です(ホームページをご覧ください)基礎編(録画配信)はどなたでも受講できます



マスコットキャラクターは
ひょうです
ひょうが5匹で
「ひょうご」です

病院を拠点に
活動しています



支援センター・ひょうご
ホームページQRコード



広報委員が院内を取材してレポート!

ぶらり〜っと
病院探訪

メディカルライブラリー

医学関連書籍がずらり! 病院図書室

今回は、病院スタッフのみが利用できる院内の「病院図書室」を訪ねました。取材日も利用者がたくさんいました！医学に関する学術資料、文献や電子書籍を利用して、当院の医師、看護師、医療従事者、職員が日々医療知識を深めたり、アップデートしたりしているんですね。心強いです！

AGMC病院図書室データ

- 学術資料：約1500冊
- 電子書籍：約3万冊
- 電子ジャーナル：約7000誌
- 利用時間：24時間365日！



特 徴

- ① 平日の午後は司書さんが常駐されています。
- ② 契約中のデータベースがたくさんあるので、一目でわかるように入り口にポスターが掲示されています。必要な文献へナビゲートしてくれるオンラインシステムも導入。
- ③ 電子書籍と電子ジャーナルは図書室内はもちろん、院内や自宅からアクセス可能なものも。



契約中のデータベースが一目でわかるようポスターを掲示





お知らせ掲示板



引き続き、 不織布マスクの着用について

重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、**院内では引き続き、必ず不織布マスクを着用**いただきますよう、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

セミナーのご案内 令和6年度 第2回 生活習慣病セミナー

知って得する肥満の科学

予約不要
参加費無料

【日時】令和7年1月23日(木)午後2:00~4:00

【場所】県立尼崎総合医療センター 1階講堂

【講師】糖尿病・内分泌内科医長 原田貴成医師

内容

- ① 肥満の問題や原因、解決方法や最近の薬物治療について
- ② 医師・栄養士による個別相談



どなた様でも参加できます。
たくさんのご参加をお待ちしています！

★お問い合わせ:外来Bブロック(糖尿病・内分泌内科)看護師
電話 06-6480-7000(代表)



編集後記

今年も残すところあとわずかとなりました。年末・年始はみなさんどのように過ごされますか？今年、能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報があり、日頃の備えや防災意識が高まった1年でした。そして、20年ぶりの新紙幣が発行されましたね。私は、まだ新紙幣に慣れず、お財布から出すときに間違えていないか、ドキドキしながらお支払いをしています。来年も、皆さまにとって幸多き1年になりますようお祈り申し上げます。(C.O.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2丁目17番77号 TEL.06-6480-7000(病院代表) FAX.06-6480-7001

URL:<https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索